



鷲の宮卓話

平和を目指す活動の基盤

太田敬雄

世の中には平和な世界を目指す大事な活動が色々あります。紛争地帯に生きる人々を支援する活動、飢餓に苦しむ子どもたちを助ける活動、難民をサポートしようとする活動など、どれを取っても大変重要な取り組みです。他にも核兵器廃絶に向けての活動や LGBTQ+の活動なども安易に看過してはならない活動です。

それらの活動と比べると、IIMSの「異なる文化の人びとが友達になる」ことを目指す活動は、実に気楽で呑気なものに見えるかも知れません。「友達になって、楽しく共に過ごすことにどれほどの意味が有るのか」と、叱られてしまいそうです。確かに、命にかかわるために急を要する活動をしている皆さんから見ると何とも気楽な活動に見える事でしょう。

けれども、実は先ず人と人が友となって信頼し合うことから始めないと、どんなに大事な活動も、その目的を果たすためには見過ごしては

ならない活動なのです。信頼関係の構築がすべての平和活動のベースだと言って良いでしょう。どんな活動も、その根底に支援する者と受ける者の間に信頼が無ければ、善意の活動も方向性を間違えたり、時にはとん挫してしまう事になりかねません。信頼関係の構築がすべての平和活動の基盤なのです。その確信を持って、国際比較文化研究所では「相互理解に基づいた豊かで平和な地球を創るために」をモットーに、多文化間の交流活動を続けてきました。

その活動で、私たちは参加者が交流を楽しむためのプログラムにすることを掲げてきました。そこで、アジェンダとして「平和」を議論したことは有りません。平和は主義・主張で作られ出されるものではない。平和は人と人のつながりの中で、お互いに相手を（他者を）思いやる心の中で生まれると確信するからです。

心の中にこのつながりの経験を持つ者が、緊急の活動に取り組む時、それがどのような場面で有れ、確かな平和を心に持って対応していける人となるのだと信じています。いま、私はこの平和の夢を明日につなげるバトンとして掲げ続けたいと願っています。

<広告>

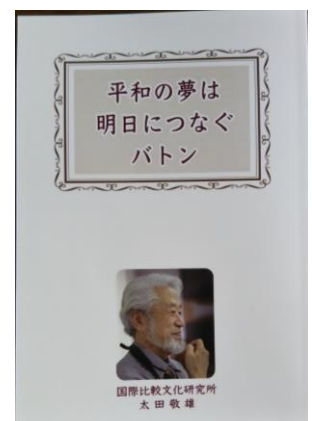
太田敬雄著『平和の夢は明日につなぐバトン』

平和を祈りとし、20年を超えて多文化間交流を模索し続けた著者が、その祈りを次の世代に引き継ぐべき時の到来を知り、まとめた一冊。

A5版 122ページ 税込みで1,320円でAmazonから発売中です。

以下から検索できます。

https://www.amazon.co.jp/平和の夢は明日につなぐバトン-太田敬雄/dp/4802081472/ref=mp_s_a_1_1?qid=1638745664&s=books&sr=1-1



マナパルーム

マナパルアンドイームズ
「MANAPAL&IIMS」は、当研究所が運営する多目的民間教育施設。
前号から MANAPAL&IIMS のスタッフを紹介しています。

おかべあすか No.2 岡部明日香さん プロフィール

1987年4月生まれ。A型。趣味は世界遺産検定、海外ドラマ。励みにする言葉「I never lose. I either win or learn.」MANAPAL&IIMSの好きなところは、アットホームな雰囲気と風通しの良いところ。



生徒の成長は大きな喜びと大きな刺激

中高英語やキッズ英検等の指導を担当する教務部長の岡部さん。生徒からは、親しみを込めて「あすか先生」と呼ばれています。

以前は小さな子どもがちょっと苦手だったそうです。でも、触れ合ううちに「なんて可愛いの!」と思うようになり、今では未就学の子どもたちとも、仲良く楽しく過ごしています。



リモート中も楽しくて
わかりやすい授業を心掛けます

保護者にも生徒にもベストな形の支援を行う「MANAPAL&IIMS」。成績アップを目指すだけの場にはとどまりません。良き先生たちとの素晴らしい出会い

はもちろん、新しい友達づくりの拠点として、交流を広げる場にもなっているのです。仲の良さが伝わる会話を聞くと「コミュニケーション能力が上がったと成長を感じ、嬉しくなります」と岡部さん。



英語の楽しさを生徒に伝えています

授業は生徒たちの様子を見ながら、言動に配慮しながら進めます。「普段は友達のように親しく接しますが、注意するときはしっかり伝えます」。生徒から人気が高い理由は、近い距離感に親しみをもちながら、信頼できる大人として見ているからでしょう。英検に合格した生徒たちとイオンモール高崎に遊びに行く約束をしていますが、コロナで延期状態。「みんなが中学を卒業する前に行きたいです」。楽しい計画が早々に実現することを祈ります。

以前はボランティア活動に積極的に参加しましたが、最近は大忙しのため参加していません。生徒たちの日々の成長に刺激を受け、今後はボランティア活動に再び参加したり、多文化交流のスタッフにも挑戦して、もっと視野を広げたいと考えています。

執筆者：狩野真由美

皆さまからの声

多文化交流オンラインにご寄付下さった方からのメッセージ：

- コロナ禍でもいろんな国の学生さんが工夫、協力して多文化共生プログラムをオンラインで続けられていることを知りました。応援させていただきます。
- 私自身学生時代たくさんの経験を多文化交流のおかげでさせていただきました。コロナで大変だと思いますがオンライン開催続けていてすごいと思います。ずっと応援しています！

多文化交流オンライン、スタッフの声

- 対面でのフリータイムのように参加者とスタッフが自由に話せる場を作れてよかった。
- プサン・マラン企画は各グループに担当スタッフがいたのでスムーズに進行できた。
- 休憩中の配信や二部制、ブレイクアウトルームに自分で参加することなど、オンライン交流の回数を重ねるごとに新しいチャレンジができています。
- 常に緊張していたけど、それを笑い話にしてくれたり、共感してくれたり、みんなが寄り添ってくれて自分が迷走せずに進めた。
- 企画もしっかり準備出来ていたのでスムーズに進んだ。スタッフの盛り上げよかった！参加者にも伝わっていた。
- 参加者が楽しめるようゲーム内容を考える事ができた。

「オムニバス講座」及び「昌平とすみれのアフターディナーショー」参加者の声

- 本当に毎回おもしろいし、家にいながらにしてこんなトリップができるのは本当に贅沢な機会です。スタッフのみなさんいつもありがとうございます。
- 素敵な夜を過ごすことができました。やっと、すみれさんと顔合わせができました。今度は生のライブ行きたいですね。本当にありがとうございます。
- 時差があること忘れるくらい同じ時間が過ごせて感謝です♪
- 数々の辛い体験などを経験された貴重なお話を伺い、私にも何か出来る事は無いだろうか?! などといろいろ考えさせられました。…いつか Zoom ではなく実際にお逢いしてみたいなあ～。
- 初めて『オムニバス講座』に参加させていただきました。楽しかったです。異文化交流の第一歩は、人と人が繋がり合うことから始まるのですね。
- ZOOM のチャット機能を最大限に活用されていて、オーディエンスが話の内容にリアクションしやすいように工夫していただいた点も非常に良かったです。
- 語学の壁について、発言力や発信力について経験された方ではないとわからないところを教えてくださいいただき大変貴重な時間となりました!
- 夢を持って、やりたいことをやって、毎日前進している人ってキラキラ輝いているなーと、年齢とか全く関係ないんだなーと、強く感じました。
- 初参加。いつもこんな感じで開催しているのですね。参加者の広がり実感です。
- 心豊かに生きるためのヒントをたくさんいただきました。…どんな場面でも謙虚で一生懸命で、それが幸せへの鍵かも?と思いました。

『Student Exchange Team』 新たな世代が躍進中!!!

国際比較文化研究所の学生会員＝Student Exchange Team(通称:SET=セット)に今年度、大きな動きがありました。

今までも入会窓口は常にオープンでしたが、具体的な活動が見えづらかった SET。学生メンバーが中心となり試行錯誤と議論を重ね、2021年4月より『会員募集』と『活動の具体化』に向けて少しずつ動いてきた中でベースが固まり、現在はオンラインでの交流活動を進めています。

また、この度一つの転機を迎えられたのは、多文化交流を中心とした SET の OB・OG の皆様が築き続けてくださった活動や、陰から応援・サポートしてくださっている皆様のご理解とご協力があるからこそです。

改めて感謝をお伝えすると共に、引き続きご支援ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

Student Exchange Team 一同

～～SET とは…?? ⇒⇒⇒世界中に友達の輪が広がる『国際交流サークル』です!～～

会員資格は ①大学生(または短大・専門学校生など)であること ②日本語でコミュニケーションが取れること(N 検等の資格は必要ありません!) ③国際交流に参加したい!という気持ちがあること

国籍や年齢は関係なく上記3つに当てはまれば、世界中どこにいても会員になることができます。より積極的に「交流活動の企画運営等に携わりたい!」という方は SET 内の《bridge of SET(通称:ブリッジ)》にも所属することでスタッフ活動にも参加することができます。



Student Exchange Team メンバー(学生会員)は常に募集中♪

▶現在はオンライン交流で月に1回程度メンバーが顔を合わせています!
詳細・入会申し込みはホームページまで(下記 URL または QR コードから)

▶<http://www8.wind.ne.jp/mthc/set.html>



金子三勇士 アウトリーチ研修 in 安中

2021.11.28. 11:30 開演
安中市松井田文化会館
共催：地域連携 Project 19
国際比較文化研究所

文化庁の掲げるアウトリーチ活動はアーティスト（絵画・音楽・舞踏・演劇等）が地域に出向いて人々と出会い、個性的な地域創造を目指す取り組み。登録されたアーティストが地域の施設や学校、文化センターなどを訪問して活動します。昭和22年から始まった群馬交響楽団の移動音楽教室をイメージしていただくと分かりやすいのではないのでしょうか。

今回のアウトリーチ研修では、今注目されているピアニスト、金子三勇士氏をお迎えし、実際にピアノを弾きながらアウトリーチ活動について語っていただきました。金子さんは1989年に日本人の父とハンガリー人の母のもとに群馬で生まれ、ハンガリーと日本でピアノを学ばれ、今年には日本デビュー10周年にあたります。今回はアウトリーチの意図と実際を紹介しつつ、同時にピアノ演奏をも堪能させて下さいました。お客様の中にはピアノに造詣深い方々、ピアノの先生たちもおられ皆口々に「貴重な経験ができた。演奏もトークも素晴らしかった。」と感激していただきました。

地域連携 Project19 の福田さん、小川さんのち密な企画に IIMS 関係者の多くが、スタッフとして応えると同時に観客として参加し、金子さんの演奏や活動、そして人柄に魅了されました。

会費のお支払い・ご寄付は「クレジットカード」または「郵便振替」で！

【クレジットカードの手続き】



左記 QR コード、もしくは下記 URL からアクセスして頂き手続き・ご登録ください。

アクセス先のページから「会費の支払い」と「ご寄付」に分かれています。それぞれのページで手続きをお願い致します。

(<http://www8.wind.ne.jp/mthc/iims-cardannai>)

【郵便振替】

下記口座にお振込み下さい。

- 加入者名：国際比較文化研究所
- 口座番号：（普通）00510-0-61974

※ゆうちょ銀行から振込可能な口座です。

※通信欄に「会費」または「寄付」とご記入ください。

会費・寄付＜敬称略・順不同＞（2021.9.1.～11.30 カードは8.1～11月30日）

会費並びにたくさんのご寄付を有難うございます。

これからも国際比較文化研究所は「平和な地球社会の実現」に向けて邁進します。

正会員入会：植原映子、中易圭子 賛助会員入会：千木良和子

正会員費：植原映子、中易圭子

賛助会費：佐俣英司（22年度分）、福田英作、小倉寿（19-21）、千木良和子、上田暢子

一般寄付：樋本達之（毎月）、田村珠里（毎月）根岸大輔（毎月）、片岡謙（毎月）、

Rosdeana Febriyanti（毎月）、藤本恵大（毎月）、内野春香（毎月）、根岸大輔、遠藤稔、

黒滝明美、福田英作、中易圭子、福崎結子（毎月）、太田玲子、太田敬雄、千木良和子

多文化オンライン寄付：横井宏行、福田則行、福崎結子、片岡謙、宮崎真帆

*注：（毎月）はカード振り込みによる毎月のご寄付です。

編集後記：◎ニューズレターのメール送信をご希望の方はご連絡下さい。totatakao.iims@gmail.com
◎コロナ騒動はIIMSの財布にも影響が出始めています。しかし大変なのはどこも同じですから、歯を食いしばって頑張っています。
◎皆様も大変でしょうが、気持ちを強く持ち、心一つにして苦難を乗り越えていきたいものです。

(敬)

発行：特定非営利活動法人国際比較文化研究所
事務所：379-0124 群馬県安中市鷺宮 3413-3
電話：027-382-5998 FAX:027-382-6393
研究所：<http://www8.wind.ne.jp/mthc>
メールアドレス：totatakao.iims@gmail.com
まなばる：<http://manapal.gunmablog.net/e80854.html>
メールアドレス：mail@manapal.jp
郵便振替口座：加入者名 国際比較文化研究所
口座番号 00510-1-61974